

滋賀県レイカディア大学 同窓会

甲賀・湖南支部だより

第24号

滋賀県レイカディア大学
同窓会 甲賀・湖南支部
発行責任者 鈴木 勲

表 紙

理事紹介 (30期 生活科学 山崎 美智代) P 1

引札とは (33期 園芸 高田 信男) P 2

皆なの広場

波乱万丈の先輩を訪ねて (17期 園芸 竹内 平吾) P 5

支部主催秋季グラウンドゴルフ大会 (27期 陶芸 畑中 良一) . . . P 6

ボランティア活動部報告 (33期 園芸 高田 信男) P 7

グラウンドゴルフ同好会活動報告 (22期 スポレク 木田 勝彦) . P 8

里山ハイキング同好会活動報告 (32期 生活 大塚 勝義) P 9

12～3月理事会報告 (31期 地文 高山 雅史) P 9

編集後記 (33期 陶芸 林 弘貴) P 11

引き札の集合



理事紹介

30期 生活科学 山崎 美智代

ともだち

レイ大卒業よりいつの間にか10年近くの年月が過ぎ去り、あらためて時の流れの速さにおどろいてしまいます。

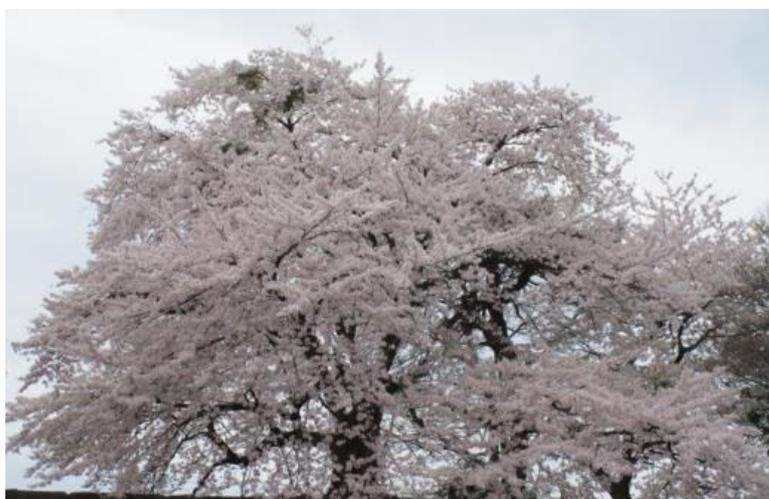
野山を歩いたりすることが好きな私は在校時からフットウォーククラブに入っていて、いろいろなところへ出かけ珍しい植物を見たり、花の名前を教えてもらったりと楽しい思い出がたくさんできました。そんな中で体力や趣味が似ている4～5人で今も山歩き等を楽しんでいます。夏には北アルプスの涸沢や燕岳に登山したり信州の高原や尾瀬ヶ原を歩いたりしましたが、最近は県内や京都の山など近場を歩くことが多くなりました。



その中の一人である彼女は、私より少し年上ですがその行動力にはいつも驚いています。大津市内のマンションに一人暮らしの彼女は毎日早朝、自宅近くの長等山々頂まで往復(1時間程度)、帰ってきて小学生の登校見守りをするのが日課です。長等山へは昨年の秋に1,000回の登山記録達成ができたそうです。またヨシ笛、大正琴などのおけいこごともやっていて、卓球は近畿大会に出場されました。そんな中で暇を見つけては一人ででも比叡山や大文字山へも登り、時々私たちも同行させてもらっています。

その彼女から5年ほど前に自分の病気のことを聞きました。前に心臓の手術をしてペースメーカーを装着していることは聞いていましたが、新たにパーキンソン病(難病)であるということ。私たちはびっくりしましたが、本人は「しょうがないわ」と意外と冷静でした。完治はしないが病気の進行を遅らせるため通院しているとのこと。今は病気の「友の会」の役員もやっているそうです。

いろいろ大きな困難に出会っても、明るくてすべてのことに前向きに取り組んでいく生き方には本当に尊敬してしまいます。何かあればすぐに落ち込んでしまう私には、彼女のことを考えてたびたび元気をもらっています。私にとって学ぶことの多い人で知り合えて良かったと思っています。私には何をすることもできもできないけど、彼女が少しでも長く元気に歩き続けられることを願っています。



引き札とは

33期 園芸 高田 信男

明治~大正期の暮らしを伝える錦絵広告「引札」発見！

もう今から30数年前になるだろうか、家内の祖父が他界し、部屋の整理をしていて、タンスの引き出しの底に古びた色刷りの絵が、無造作に重なって、見るからに汚い感じが先で、これも捨てて！との指示が出たのだが、まア~後でゆっくり見てからでも・・と我が家に持ち帰り、それ以来、すっかり忘れてしまっていた。

2年前だったか、探し物をしていて、再び見つけ出して、市の歴史文化財課に持ち込んでみると、これは「引札」「正月札」などと呼ばれることを知った。そこで、約1年間、自分なりにいろいろな面から調べをすすめると、なかなか貴重なもの、とりわけ、明治から大正期にかけての油日村・油日上野の様子が読み取れるものであったので、調査内容の指導を受けながら、明治から大正期の錦絵広告「引札展」を市内各図書館で開催し、多くの皆さんに紹介することができた。

引札とは

引札（ひきふだ）とは、江戸・明治・大正時代にかけて商店、問屋、製造販売元などの宣伝のために配布したチラシ・広告で、そこに描かれているのは、客の関心を引き付ける鮮やかな絵柄で、しかも、できるだけ長期間顧客の家で貼り付け保管され、宣伝効果が上がるようにと、尊い福神・縁起の良い福の神（粗末にされない）或は、新しい時代を表したものの、芝居の一場面、教訓など、更に実用的な暦も引札に用いられるようになってくる。

昔から商いは盆暮れ勘定と言われるように、毎年、年末に半年分の請求、支払い時に、次なる来店「お客を引く」、「引き付ける」という意味合いを託し「引札」と称して配布したもので、今も年末にお店から届くカレンダーのような性格で、別名、正月札・正月引札とも呼ばれていた。

江戸期、最初は墨刷り1~2色で文字が中心だったようだが、江戸末期から文明開化へと商売が活発になるに従って、浮世絵の技法を取り入れた色鮮やかな引札となって、さらに機械木版印刷、石版印刷の導入によって大量印刷がされるようになって、商売の盛んな京・大阪から徐々に田舎の商店でも明治中期から大正にかけて引札が利用されるようになり、やがて、新聞が発刊されると折り込み広告や掲載広告に代わり引札は徐々に衰退していった。

なお、引札は印刷技術のある京都や大阪の印刷業者（版元）が絵柄を大量印刷し、田舎の印刷業者が店名など、未だ文字が入っていない見本を持って、各商店を廻って好みの絵柄を決め、商店名や扱い商品等の書き込み内容を決め注文を受け、文字印刷をして完成させ年末前に各商店に収める流となっている。



発見した引札とは

約30年前に出てきた引札を整理すると全部で56枚、その商店を地域別に分類してみると油日村にあった商店の引札が41枚、大原村にあった商店のもの4枚、甲南町の商店6枚、その他県内外5枚であった。その殆どが油日上野商店街のもので今から120年もの前の商店であるが、今なお現役のお店が2~3軒あり感激の極みである。

引札を業種別にみると海産物、魚、乾物、青物類を扱った店、料理、仕出しの店、飲食店、宿屋・宿泊旅館の店、荒物商、小間物・化粧品のお店、傘・提灯の店、呉服・反物・布団の店、菓子製造店、麺類製造店、種油・肥料の店、紙類販売店、醤油店、牛乳販売店など実に多種にわたり、主たる商売の傍らお茶・繭の買い付けや、染め物取次とか、古着の売買といった商いも確認できた。

引札に描かれている絵柄から整理すると、殆どが、七福神、恵比寿・大黒などの福の神や鶴や鯛の縁起物で、神が描かれているから粗末にしない、大切にしてもらえる。或は自動車、電話機など流行を先取りした物が描かれたもの、忠臣蔵など芝居絵や平安時代の書道家小野道風など歴史上の人物等々が描かれ、話題や戒めが庶民の暮らしの中に尊ばれていった。

さらに、今のカレンダーにあたる「暦」を刷り込んだ「引札暦」が8枚あり、明治5年太陽暦を使う令が出されたが、未だ旧暦が扱いやすく、「引札暦」の殆どが新暦・旧暦の併記の方が実用的で人気があったようだ。

少し変わった引札として、相撲の人気力士写真と番付け表が引札に用いられ、しかも、東京相撲と大阪相撲両方が表記されていて相撲界の歴史の節目の頃のものであった。





解説1：引札から教訓・戒めを！

小野道風と柳に蛙お馴染み花札・雨の二十文である。

平安時代の書道家小野道風はスランプに陥って書道家をあきらめようとした時、柳の枝に何度も飛びつく蛙が見事に枝を捕まえるところを見て、こんな小さな蛙でも努力しているのにしている。自分の力を改めて奮い立たせたと言う逸話で明治、大正の道徳でも取り上げられている。

この札が貼られている家庭では子育てに役立たせたことだろう。

解説2：呉服・太物・唐反物を扱う店

右の店が扱う品を説明できるだろうか？

引札は広告であるから当時の人々は当然承知されているに違いない。

呉服は和服・着物の総称、特定して絹織物を指す。太物とは、絹織物（糸が細い）に対して、糸が太いもの「綿織物、麻織物」を太物と区分、唐反物は古く唐から伝わった絹織物を総じて唐反物と呼んできた。暮らしの中の衣服が大きく変化してしまうと説明、理解できない昔の話になってしまった。

なお、この辻忠商店の「并に 古着売買」の表記に注目したい。昔は物を大切にした。古い着物を売り買いする、いわゆる着物のリサイクルショップである。とりわけ着物は糸をほぐし、洗い張りすれば新品のような着物に仕立て直せる。こうした文化も引札から学ぶことができる。



おわりに

今から約120～130年前の色鮮やかな錦絵、引札は和紙ならではの風合いをそのまま伝えており、今回、引札展をご覧いただいた皆さん誰もが感動されており、思い切って展示・紹介する機会を持たせたことに喜びを感じている。

レイ大同窓会会員の皆さまのお家にも、昔には同じような引札が配られたはずですが！場合によっては何処かに残っているかもしれません！

何でも簡単に捨てないで、あれこれに関心を持つこと、そして調べて見る。深読みをするとなかなか新しい発見があるものです！

この投稿が皆さんのお宝発見の足掛かりになることを願っています。

皆なの広場

波乱万丈の先輩(17期 園芸 竹内 平吾様)を訪ねて

今回新しい試みとして、会員相互の交流と親睦をより一層深めるべく、広報部主体での同窓会高齢者との対談を行いました。

今回は、最古参で且つ最高齢(95歳)の竹内 平吾様を3名で訪問しました。

私は初訪問でしたが、とても95歳とは思えない元気さと、頭脳の明晰さにはびっくりしました。

本当に10歳以上は若いといった感じでした。

竹内様は、17期・園芸学科の出身ということでした。

本人は農業出身の為、園芸以外の文芸学科を希望されたそう

ですが、文芸には入れず、園芸なら入れるということで、園芸学科に入学されたそうです。

入学時の園芸学科は25名で、卒業後もトナカイ(17会)というクラス会を立ち上げ、年2回(春、秋)の懇親会を行ってきたそうですが、高齢化に伴う会員減もあり、10年以上前に中止になったそうです。

竹内様の人生経験を伺いましたが、大腿骨骨折という大怪我の為、小学校5年生の3学期を全休し、あわや落第というところを自宅での試験という計らいで落第を免れたこと。戦争中は、飛行機に乗りたくて、八日市航空隊の飛行兵を受験したが、適性検査で不合格となり、上官の指示もあり、全く未経験の衛生兵の道を歩み、且つ教育隊勤務で行軍がなかった。結果的には、このことが戦死せずに生き延びたこと。奥様に先立たれたこと。本職の農業以外にも、道路公団で15年、造園会社(花豊)で10年勤務し、それ以外にも、同和対策事業、JA理事、JA組合長等と多彩な経歴を積んで来られ、JA時代には、初めて葬儀事業を手掛ける等、正に波乱万丈の人生を歩んでこられたという印象でした。

暇になったのは90歳になる前で、若い時からたばこは吸わなかったが、甘いものは好きで、酒、熱いもの、冷たいもの、辛いもの何でもOKで食事内容には無頓着でしたが病気にはなっていないとのことで、農作業で鍛えた丈夫な身体ができあがっていたことに併せて長いこと現役でやって来たことが健康長寿の秘訣ではないかと感じました。

現在、自動車免許は返上した為、移動が不便であるが、眼科医に月1回通院する位で、必要なら同居家族の送迎があり、親子3世代同じ敷地で生活している為、幸せを感じつつも、今後の日本はどうなるのかと心配し、又体力的に無理と判りながら、なお社会貢献したいという意欲を持っておられることには敬服しました。

なお、暇がありすぎる為、写経にも取り組んでいるとのことでした。

食事は現在でも若い人に負けない位肉が好きで、食べて寝るだけではもったいなくて、むなしい気持ちがあるとこぼされていましたが、健康で長生きの見本みたいな人で、私達後輩の目標としたい人でした。

もっと貴重な経験を伝授して欲しいと思いつつ、対談を終えました。

(記：広報部 浦田 好造)



甲賀・湖南支部秋季グラウンドゴルフ大会

平成29年11月10日
水口 杣川G

平成29年度の秋のレイカディア甲賀・湖南支部のグラウンドゴルフ大会が、11月10日に、杣川の河川敷で開催され、晴天の秋空の中、楽しい1日を過ごしました。

事前の参加申し込みは33名でしたが、事前届けも含めて12名の欠席者が出たことは残念でした。参加者21名で32ホールを楽しく競技を楽しむことができましたと思いますが、成績発表の時、不手際がありました事お詫び致します。

参加賞等の商品等を購入して頂き、当日参加できなかった体育部長の田村様には感謝申し上げます。

多くの方に、心のこもった商品を届けることができました。次回の大会をもっと多数の参加者により、仲間作り、健康作りにはとても良いグラウンドゴルフにして頂きますようお願い致します。

(記：体育部 畑中 良一)

順位	名前	打数	1打	2打	順位	名前	打数	1打	2打
1位	市井 眞一さん	78	1		11位	東 孝一さん	89		11
2位	鈴木 勲さん	79	2		12位	松井 彦一さん	89		8
3位	木村 栄子さん	83	1		13位	森井 幸三さん	91		9
4位	畑中 良一さん	83			14位	小林 龍作さん	91		
5位	飯田誠太郎さん	86	1		15位	前田 松栄さん	94		
6位	木田 勝彦さん	86	1	7	16位	松井 和子さん	97		6
7位	林 弘寛さん	86	1	6	17位	広瀬忠三郎さん	97		4
8位	木下美恵子さん	86		13	18位	本田 秀信さん	98		9
9位	田中 精一さん	86		12	19位	森井 久次さん	98		9
10位	竹内 重行さん	87	1		20位	木村 文一さん	103		
					21位	小林 和雄さん	105		



ボランティア活動報告

奮闘した「ボランティア活動の日」について

レイ大同窓会甲賀湖南支部では平成29年度の新規事業として「ボランティア活動の日」を設定し、平成29年11月14日(火)に「水口岡山城」山麓より登山道の清掃・整備活動と歴史を学ぶと題して計画実施を進めました。

5月から何度も現地に足を運び関係機関との調整、9月から会員への参加募集、11月に入ってボラ活動部部員で当日の流れを確認、更にはボラ保険、弁当、お茶の手配等、準備万端で当日を迎えたのですが、当日の朝から、本州の南を前線が東へ進み、台風並みに発達した低気圧から寒冷前線が近畿を通過する時間帯と重なり、早朝より天気予報を見ながら、中止の判断を下しました。参加予定者29名への連絡、弁当お茶のキャンセル、市役所関係者との連絡等、慌ただしい朝となりました。

初めての企画で、何とか実現したいと熱い思いもあったのですが、雨の中、ケガ人や事故の危険度が高まる恐れも考えての中止の判断となりました。当日は全国的に激しい雨が降り、1時間雨量の記録が更新された地域もあったと報道されているのを聞いて、無理をしなくて良かったと安堵した「ボランティア活動の日」となりました。

せっかくの企画で、日を改めて実施するか?と役員会でも検討を頂き、最終的に今年度は活動を中止することと決まりました。

準備から当日の判断まで、全てについて進めてきたことが次年度に活かせればと思っています。同窓会会員の皆さま、平成30年度の「ボランティア活動の日」には二年分の熱い思いを込めてのご参加どうか宜しくお願いします。



(古城山山頂より水口市街地・飯道山を望む)

活動の情報交換～ボランティア懇話会～

平成30年3月9日 日頃ボランティア活動をされている会員のみなさんとの情報交換「ボランティア懇話会」が開催されました。

当支部としての取組状況報告の後、会員の皆さんが各所で取組んでおられる活動の紹介やボランティアを求めている団体からの紹介パンフをもとに、お茶を飲みながら気楽な情報交換の場、ボランティア懇話会となりました。

(記：ボランティア活動部 高田 信男)



グラウンド・ゴルフ同好会活動報告

平成29年度の同好会の活動状況を報告します。
年初に年6回の開催を計画し、会員の皆様と自然に親しみ、楽しいひと時を健康で過ごそうを合言葉に活動を続けております。

春や秋の気候の良い季節を中心にプレーを楽しむ計画でしたが、生憎予定日が雨の日が多く、また、計画を取り戻すため初冬に実施も試みましたが雪にも見舞われ思うようにできませんでした。

しかし、寒い冬場でしたが会員の皆様のご協力により、12月、1月、2月の毎月開催ができ、計画の6回を終えることができました。

3月には1年間の各自のスコアを集計して年間成績をまとめる予定です。

延べ参加人員は25名ですが、新しい会員の入会が最近ありません。
同窓会が出会う機会が少ないですから、初心者誰でもできるグラウンド・ゴルフをやりませんか。

(平成29年度活動状況)

第1回	4月20日	野洲川GG場
第2回	5月30日	甲南杣川GG場
第3回	7月25日	土山青土GG場
第4回	10月30日	野洲川GG場
第5回	1月30日	甲南杣川GG場
第6回	2月27日	甲南杣川GG場

グラウンド・ゴルフ同好会への入会希望者は、氏名、住所、卒業学科・期 電話番号を記入して、下記の世話役にお申込み下さい。

年会費 500円

申込先 小林 龍朔氏(新年度世話役)

甲賀市甲南町希望ヶ丘2-2508



(記：グラウンド・ゴルフ同好会 木田 勝彦)

里山ハイキング同好会活動報告

里山同好会では年3回実施を目標に、近くの里山や旧跡などを巡るハイキングを計画しています。

29年度は

第1回：栗東市「日向山花見と周辺の散策」

第2回：近江八幡市「八幡山城の散策」

を計画し実施しました。

第3回目のハイキングは昨年11月28日に湖南市「菩提寺山周辺の散策」に予定していましたが、当日までの天候不順による影響や会員の参加者が3名と少ないため、残念ながら中止とすることになりました。

30年度に改めて計画の予定です。

(記：里山ハイキング同好会 大塚 勝義)

平成29年12月～平成30年3月理事会報告

平成29年12月12日(金)第5回理事会、平成30年1月19日(金)第6回理事会
3月9日(金)第7回理事会を開催。

報告事項は次の通りです。

※支部長報告

- 1、10月19日 会員趣味の作品展 協力により多数出品された
- 2、10月20日 新入会員歓迎会 新入会員9名中6名、既存会員30名出席
アトラクション 「出前マジック」(湖南市ボランティアセンター平井氏他1名)
- 3、11月6日 本部主催地域活動事例発表会
木村榮子さんの「健康BAND体操と子育て支援」の発表
- 4、11月10日「第2回グラウンドゴルフ大会」甲南杣川グラウンドゴルフ場
21名参加
- 5、11月14日 「ボランティア活動の日」水口岡山城の清掃活動と歴史を学ぶは
雨天中止
- 6、11月22日 1日研修旅行 関西空港、堺、仁徳天皇陵と堺市博物館、
伝統産業会館見学市庁舎展望室から堺市見学
- 7、平成30年度同窓会費集金 3月中

※各部報告

1、体育部

第2回GG大会 1位 市井真一さん 2位 鈴木勲さん 3位 木村榮子さん
21名参加

支部GG大会終了、同好会行事残っている。→完了。

2、文化広報部

23号 12月12日発行

24号 3月15日発行予定

3、ボランティア活動部

水口岡山城のボランティア活動 11月14日は雨天中止

30名の参加予定者があった。次回実施の意見聴取。

昨年は3回のボランティア懇話会を開いた。

ボラセンターへ(甲賀・湖南)の登録会員はすでに活動している人ばかりであった。

4、作品展、新入会員歓迎会部

作品展(10月19日、20日) 30名の方が95点出品 記帳40名

新入会員歓迎会(10月20日) 会員合わせて36名出席

「出前マジック」(2名)のショー

5、研修旅行部

32名参加 費用一人当たり男9000円、女8000円

※協議事項

平成30年度役員の体制

新三役推薦

理事 3月9日の理事会に各地区より報告

規約改正

88歳以上の会員の年会費徴収免除の検討

意見集約の結果3月31日時点で満88歳の方の年会費を免除する。

第9条の1、項に付則として付ける。(総会承認必要)

※同窓会本部関係

1、レイカディア大学必修講座聴講の案内

1月26日(金) 13:00~15:00

草津校 内容 近江路を歩いた人々の旅日記を見る

講師 江竜 善之氏

当支部より 2名参加

2、レイカディアレイカディア大学自由聴講についてのアンケート

1月20日締め切り 出席理事提出

3、平成30年度本部定期総会慶祝者報告 対象者4名

※物故者

三大寺 章 氏(88歳) 石部 18期 生活学科 平成30年2月逝去

(記:副支部長 高山 雅史)

編集後記

今年の冬の寒さは何年振りかの異常な寒さでした。滋賀県でも湖北では1メートル級の積雪で住民の方々の苦労は大変だったでしょう。この異常気象が今年の夏の気候に影響しないように願っている昨今です。

今回の広報部では、大先輩にインタビューをすれば、いろいろな経験談を聞くことができ、良い企画になるのではないかと思い実行しました。

内容は、浦田さんより「皆の広場」で紹介している通りで、石部地区の長老の竹内さんを訪ね、波乱万丈の経験談に感心させられました。淡々と、明るくしっかりとお話しされ、私もこのように過ごせたらと思ったものでした。

この企画は今後も継続していけたらいいなと思いますが・・・

最後になりましたが、この一年間、原稿のご協力有難うございました。

四月から新たな体制で新年度のスタートです。会員の皆様の各方面でのご活躍を期待しています。

(記：広報部 林 弘實)